選続 プロヴァイト 連続機 大阪 年報 アア クラップ 〇 アンテー 〇 〇 アンテー 〇 ア	1		名——] [J	プレイヤーギ	名一						技能	技能 レベル	基本 レ 命中2	. 基z 力 回避			と盾							Ę	必要 シク 筋力		壁力 防護
接続 プロウット 接続機能の対き、統石の全体、最后の身体 フェック ファック ファック	<i>/</i> / / !	,																<u> </u>							クロ・	ース	アー	マー			1	() 4
Yama	種加	Ę	フロウライト 種族特徴 魂の輝き、鉱石									、晶石	 の身体	<u> </u>				_			+		の他補言	-(防具]	劉熟/回	游行重	in eto	-)					2
機能	生ま	n		妖精的	 吏い		性別	」 女			4	E齢	???					_													合計	直 (
#翻集 0 翻載	冒険者	fLv		2				物心	がつい	た時には	t− .	人だっ	た				武器								+ +	C店	追加	# +	3 1	5	6 7 8	2 0	10 11
Bが世 A-F 展表 像版 検が換 アンマン 技能 Lv. 大力 Lv. L				0			経歴					<u></u>				- 1						13/3							2 7				
大型 1		45. + 15	Ε A	F	#=	ш.к-	AK + /=		9		_	-	++-A	ĸ	1									2d+						+++			
数数		製田原	_		以 長	他修止							技能	Ĕ	LV	-													\vdash	+++			
生命力 5 1 7 7 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	技 5		_				10																	20+					$\perp \perp$				
1	体 1	筋力					14	2	1	セージ		2										()	肖耗チェック)									_	
1	· ·						<u> </u>	·										宝石	×4					11									
大き 1-289	心 1	5 —			1											-								11									
大田 1-289p P P P P P P P P P			י וי	4			21	4										分)						11	-								
p p p p p p p p p p p p p p p p p p p p p p p			/坐上	14	200					_	ب_					_	DEHL H (· MI	,,							所持金					預金	· 借金		
P)	这法拟人	/ 安义	1	-289	⊅p n								10	_	_						01						5		ŝ			
p p p p p かられたの書もいます。 2d+ 0 6 13 女精療法 2 5 女精療法 2 5 財務 財産 財産 財産 大大株療法 2 5 財産 財産 財産 財産 財産 日本の出土 日本の出土<						р								0	+		制限移動 通常移	多動	全力移動]避	防護点	Н	,		法技	 能	Lv.	魔力		基法技能		_V. 魔
p p						р									C)				2d+	0	6	13	3				2					
P						р				р		妖精	語	0			m	m	m					그[\perp			
P						р											魔物知識/弱点	5	も制力	生命	抵抗	精神抵抗	М										
P						р									-	-	2d+ 5	2d+	0	2d+	3	2d+ 6	48	3					-	+			
P						p p																		[<u></u>			
日						р												装備	品				説	明			nk n		<u> </u>				説明
首中						р				р							田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田							-									
首中				h / Pun											L 101	_	顔							-									
左手	練技/	兄歌/騎:	会/駆	M							7	占管 ア・	イテム		点数		首 宝石ケ	ース	妖精	責使い(の宝石	を4つ納る	められ	る [
腰																	背中							_									
その他メモ 一字の他メモ																	右手							_	左手				- —				
その他メモ 一字の他メモ																								-					- —				
その他メモ										\blacksquare														— 									
日験に出た理由:無理やり巻き込まれて / フロウライトという種族故に、誰もいない、何もないところで生まれたアリザは、魔導機文明の遺跡を拠点に、コロロボッカの森で孤独に暮らしていた。 1人での暮らし以外を知らない彼女にとって、それは不幸ではなかった。しかし、気まぐれで遺跡にあった書物に手をつけたことで、彼女の世界は途端に広がった。仲間と協力して困難に立ち向かう冒険譚、人々の出会いや別れを描いた物語に触れ、彼女は誰かと手を取り合うことを知り、興味を持っていった。そんなある日、アリザが応の世話をしていると、一体の蛮族が遺跡に近づいてきた。それは傷だらけで、"狩る側"の者たちから命からがら逃げおおせた、といった様子だった。普通であれば見同きもしない、あるいはトドメを刺すところだろうが、悪意を知らない彼女は、あろうことかその蛮族を介抱し、怪我の手当をした。初めての友人になるかもしれないそれに期待を膨らませている彼女のことなど知る由もなく、動けるようになった鬼外のものは、憂さを晴らすかの太らに花るかもしれないそれに期待を膨らませている彼女のことなど知る自もなく、動けるようにより変がのもでもも無くなったよった。おいでしまい、以前のように人との繋がりを求めることも無くなった。ある日、当てもなく歩きに出たアリザは、視界の橋に弱々しい光を映した。近づいてみれば、それはあの日のように、傷だらけで倒れていた、一人の少女だった。過去の苦い経験など忘れたかのように駆け寄り、遺跡に連れて帰る。しばらくして目を覚ましたそれは、シルフと呼によ、人のクサをだった。過去の苦い経験など忘れたかのように駆け寄り、遺跡に連れて帰る。しばしたところを襲われまうだ。辺りを見回しに、人の少女だった。																	- スの他ソエ																白動失助
気まぐれで遺跡にあった書物に手をつけたことで、彼女の世界は途端に広がった。仲間と協力して困難に立ち向かう冒険譚、人々の出会いや別れを描いた物語に触れ、彼女は誰かと手を取り合うことを知り、興味を持っていった。そんなある日、アリザが花の世話をしていると、一体の蛮族が遺跡に近づいてきた。それは傷だらけで、"狩る側"の者たちからからがら逃げおかせた。皆通であれば見向きもしない、あるいはトドメを刺すところだろうが、悪意を知らない彼女は、あろうことかその蛮族を介抱し、怪我の手当をした。初めての友人になるかもしれないそれに期待を膨らませている彼女のことなど知る由もなく、動けるようになった異形のものは、憂さを晴らすかのように花畑を蹂躙し、アリザに暴力を振るった。それ以降、彼女は塞ぎ込んでしまい、以前のように人との繋がりを求めることも無くなった。ある日、当てもなく歩きに出たアリザは、視界の橋に弱々しい光を映した。近づいてみれば、それはあの日のように、傷だらけで倒れていた、一人の少女だった。過去の苦い経験など忘れたかのように駆け寄り、遺跡に連れて帰る。とれば、シルフと呼ばれる、風の力を操る妖精、冒険の世界に飛び立たんとし、契約者を探すために棒家を抜け出したところを襲われたようだ。辺りを見回し「□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□																	冒険に出た理由:無	理やり															チェック
体の蛮族が遺跡に近づいてきた。それは傷だらけで、"狩る側"の者たちから命からがら逃げおおせた、といった様子だった。普通であれば見向きもしない、あるのはトドメを刺すところだろうが、悪意を知らない後致のは、あろうことかその面もなく、動けるようになった異形のものは、憂さを暗らすかのなったなどれる由もなく、動けるようになった異形のものは、憂さを暗らすかのように花畑を蹂躙し、アリザに暴力を振るった。それ以降、彼女は塞ぎ込んでしまい、以前のように人との繋がりを求めることも無くなった。ある日、当てもなく歩きに出たアリザは、視界の橋に弱々しい光を映した。近づいてみれば、それはあの日のように、傷だらけで倒れていた、一人の少女だった。過去の苦い経験など忘れたかのように駆け寄り、遺跡に連れて帰る。しばさくして目を覚ましたそれは、シルフと呼ばれる、風の力を検る妖精、冒険の世界に飛び立たんとし、契約者を探すために棒家を抜け出したところを襲われたようだ。辺りを見回してはれる、風の力を検る妖精、冒険の世界に飛び立たんとし、契約者を探すために棒家を抜け出したところを襲われたようだ。辺りを見回してはれる。風の力を検る妖精、冒険の世界に飛び立たんとし、契約者を探すために棒家を抜け出したところを襲われたようだ。辺りを見回してはれる。風の力を検る妖精、冒険の世界に飛び立たんとし、契約者を探すために棒家を抜け出したところを襲われたようだ。辺りを見回してはれる。																	気まぐれで遺跡にあ	うった書	物に手をご	つけたこ	とで、	彼女の世界は	途端に広	がった。	仲間と	ヒ協力し	ノて困難	起立ち	向かう冒	険譚、人	、々の出会し	140	
の友人になるかもしれないそれに期待を膨らませている彼女のことなど知る由もなく、動けるようになった異彩のものは、憂さを晴らすかのように花畑を蹂躙し、アリザに暴力を振るった。それ以降、彼女は塞ぎ込んでしまい、以前のように人との繋がりを求めることも無くなった。ある日、当てもなく歩きに出たアリザは、視界の橋に弱々しい光を映した。近づいてみれば、それはあの日のように、傷だらけで倒れてい。ある日、当てもなく歩きに出たアリザは、視界の橋に弱々しい光を映した。近づいてみれば、それはあの日のように、傷だらけで倒れていた。一人の少女だった。過去の苦い経験など忘れたかのように駆け寄り、遺跡に連れて帰る。しばらくして目を見ましたそれは、シルフと呼ばれる、風の力を操る妖精、冒険の世界に飛び立たんとし、契約者を探すた強いとしがこころを襲われたようだ。辺りを見回してはれる、風の力を検る妖精、冒険の世界に飛び立たんとし、契約者を探すために棲家を抜け出したところを襲われたようだ。辺りを見回してはれる、風の力を検る妖精、冒険の世界に飛び立たんとし、契約者を探すために棲家を抜け出したところを襲われたようだ。辺りを見回してはなる。																	体の蛮族が遺跡に近	Íづいて	きた。それ	れは傷だ	らけで	、"狩る側"の	者たちか	ら命から	5がら逃	೬げおお	ゔせた、	といっ	た様子だ	った。普	通であれば	ば見 「	
。ある日、当てもなく歩きに出たアリザは、視界の橋に弱々しい光を映した。近づいてみれば、それはあの日のように、傷だらけで倒れてい │ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □																	の友人になるかもし	んない	それに期行	寺を膨ら	ませて	いる彼女のこ	となど知	る由もな	ほく、重	助けるよ	ようにな	った異	形のもの	は、憂さ	を晴らすた) の [
										$-\parallel$						4	。ある日、当てもな	きむり	に出たアリ	リザは、	視界の	橋に弱々しい	光を映し	た。近:	づいてみ	みれば、	それは	はあの日	のように	、傷だら	けで倒れる	こい し	
											坐上	=C+≠	0 /	/ <u>ヘ</u> ョ	0	\dashv																7	